

令和4年9月16日（金）職業研究会 を実施しました

「進路・職業について考える」ことを目的としたこの研修会には、7つの分野から、本校卒業生を中心とした講師の方々が来校されました。講師の先生方と、講義後の生徒の感想を紹介します。

（1）教育分野 山下 千晴 先生

（こどもサポートハウスおむすび）

放課後等デイサービスで、障がいを持つ子どもたちが成功体験を積み上げ、楽しく過ごしていくための支援をしていると伺いました。普通の保育士よりも大変であるにもかかわらず、笑顔で接することを心がけておられると聞き、すごく大切なことであると思いました。「自分の幸せがなかったら相手には幸せが伝わらない」という言葉が印象に残りました。（12H 生徒）



（2）情報分野 伊藤 秀則 先生（富士通株式会社）

システムエンジニアは、自分の好きなことに対して能力を高めていくことが可能な仕事であること、また、一人ではできない仕事で多くの人との関わりが必要な仕事であることが分かりました。システムエンジニアになるためには、知恵と協調性、精神力が必要だと伺いました。今のうちからたくさん勉強し、部活動などでチームワークを養い、普段の生活の中でコミュニケーション能力を身につけていこうと思いました。（14H 生徒）



（3）医療分野 米澤 円華 先生（済生会高岡病院）

今後実践しようと思ったことは、人と積極的にコミュニケーションを取ることです。なぜなら、言語聴覚士や薬剤師等医療分野に関わる人は、医師と相談したり患者に説明したりする事がたくさんあると思うからです。チーム医療を実行するためにもコミュニケーション能力は今後必要不可欠になると感じました。学生時代である今のうちから、コミュニケーション能力を磨く必要があると思います。（11H 生徒）



(4) 福祉分野 木村 智子 先生 (救護施設八尾園)

岩下富紀子 先生 (救護施設八尾園)

これまでの私は、失敗すると怖いという理由で物事に挑戦することを諦めてしまうことが多かったので、今回の講義では「失敗も学びになるし、次へつながる」という言葉が心に残りました。介護福祉士でもそうでなくても、人の役に立つことは喜びであり、大切なことだと思います。私はこれから、常に周囲の人たちに温かい気持ちを持って生活していきたいと思います。(13H 生徒)



(5) サービス分野 舟見 智子 先生 (富山第一銀行)

印象に残ったことは、機械化が進む中でも、感情のある人にしかできない仕事があるということです。お客様の悩みを聞くことはロボットでは行うことができないからこそ、人材が求められていると分かりました。自分の将来の職について考える際に、適当に決めてしまうと自分の人生を棒に振るようなものなので、自分の得意なことややりたいことを見つけて、適切な職に就けるように取り組んでいきたいです。(11H 生徒)



(6) 国際分野 高橋 志帆 先生 (日本航空) 藤谷 葉奈 先生 (日本航空)

客室乗務員は正しい日本語を使う能力だけではなく、語彙力もつけておくことが必要だという話が印象に残りました。普段の生活でなにげなく話している言葉の中にも、誤った日本語が多くあるのだと分かりました。私たちが社会に出たときに正しい日本語を当たり前使えるように、毎日の生活の中で意識していきたいです。(11H 生徒)

(7) 自然科学分野 不破 光大 先生 (魚津水族館)

今回の講演会では、自分の好きなことを見つけ、それに向かって積極的にチャレンジしていくことが大切だというお話が、特に印象に残りました。また、勉強だけでなく人とのコミュニケーションや経験の積み重ねも大切なのだということが分かりました。今後は、目指す進路の分野に関わる活動やイベントなどに参加し、経験を積み重ねていきたいです。なぜなら、多くの経験を得ることで目指す職種が更に明確になり、また活動やイベントなどを通じて、コミュニケーション能力を上げることができると思うからです。(14H 生徒)

